

主直日誌

4月20日(金) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

- ・ 航路実習(備讃瀬戸南・東航路、明石海峡航路)、投揚錨実習

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

焼を津出港してから一週間、航海も後半に入りました。前半を振り返って見ると、一つ一つの航路を丁寧に、深く学ぶ実習であったと思います。後半は多くの研修があるのでとても楽しみです。

今日は備讃瀬戸南・東航路、明石海峡航路の復路の航路実習となりました。どちらの航路も2回目となるので前回の反省点を活かして、臨みました。備讃瀬戸航路は、約30マイルの長い航路となっているので、長時間気を抜くことが出来ませんでした。実際には小型漁船が備讃瀬戸東航路の中央で操業をしていて、大きく避航して、航行する場面もありました。明石海峡航路では、前回より船舶交通が輻輳していて、さすがに舵輪を握った時は緊張感でガチガチでした。明日、神戸港航路を通り終われば、主要な航路の実習は終わりとなります。この航海で初めて知った事や身についたことを次からの航海実習の役に立てて行きたいです。

明日は神戸港に入港し、3日間の研修があります。川崎ワールドやフェリー「サンフラワー」、神戸大学海事工学科、明石天文台、阪神内燃機に訪れる予定となっています。普段経験したり、見ることの出来ない場所に多く訪れます。どの研修先も海事関係機関であり、将来の職業選択に役立つものとなるので、1つでも多くの知識を学び、私自身のものにしていきたいと思います。

今後において充実した乗船実習を送るためには、この後半の一週間を如何に過ごすのかといったことに掛かっていると思います。全力で実習に取り組んで行きます。

